Jミルク需給短信【8月】

2026年8月7日　≪公表用≫　

お知らせ：次回発信日は8月20日週報（予定）

Jミルクが2026年7月31日に公表した「需給見通し（※2026年5月迄実績）」の予測値と直近の実績値（牛乳乳製品統計）をグラフ化しています。
「牛乳乳製品統計（農林水産省）」の公表に併せて、今後も毎月配信していきます。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

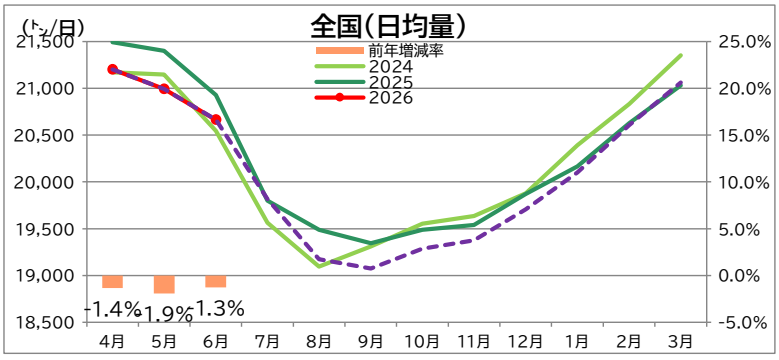
【6月の統計実績】

- **生乳生産量**
  全国が、前年同月比▲1.3%（日均量、以下同）となり、6カ月連続で前年水準を下回ったものの前週から減少幅は縮小した。地域別では、北海道が▲1.6%と全国同様に6カ月連続で前年水準を下回り、都府県は▲0.8%と10カ月連続で前年水準を下回った。都府県の減少率が北海道の減少率を下回ったのは今年度初となる。指定団体受託乳量（速報）は、北海道（ホクレン）では7月下旬が昨年大きく減少した反動もあり前年水準を上回った。都府県では、昨年に比べ低温が続いた影響などにより6月下旬、7月上旬は前年水準を上回ったものの、気温が急上昇した7月中旬は前年割れに転じた。
- **牛乳等生産量**
  牛乳の生産量は、前年同月比▲1.6%と11カ月連続で前年水準を下回った。牛乳のうち、学乳および業務用を除く牛乳（＝家庭用）は同▲1.6%と2カ月ぶりに前年割れに転じた。成分調整牛乳は73カ月連続、加工乳および乳飲料は11カ月連続で前年水準を下回っており、牛乳類全体としては11カ月連続で前年割れとなった。一方、発酵乳については、4か月ぶりに前年水準を上回り、6月としては2023年以降で最も高い水準となった。
  以上の結果、生乳の飲用等向処理量は、前年同月比▲1.0%と11カ月連続で前年水準を下回ったものの前月より減少幅は縮小した。生乳供給量、飲用等向処理量どちらも減少したが、生乳供給量の減少による影響が大きく、乳製品向け処理量は▲1.7%と3カ月連続で前年水準を下回った。
- **乳製品需給**
  脱脂粉乳は、生産量が12.7千㌧（▲2.5%）、推定出回り量は11.9千㌧（＋21.1%）と需要量が供給量を下回った結果、在庫量は前月から約0.8千㌧増加し、月末在庫量は79.5千㌧（＋24.5%）と19カ月連続で前年水準を上回り、3か月連続で70千㌧を超えた。一方、バターの生産量は6.4千㌧（＋0.4%）、推定出回り量が6.7千㌧（＋8.1%）、輸入売渡数量が1.1千㌧となり、需要量が供給量を下回った結果、在庫量は約0.8千㌧増加して38.9千㌧（+21.4%）となった。在庫量は22カ月連続で前年水準を上回っている。

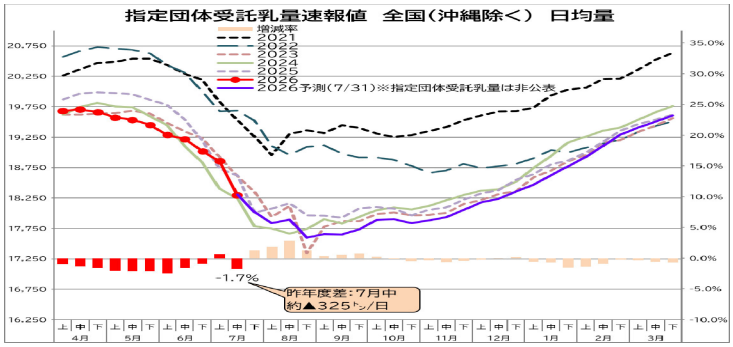
【7月および7/27週の販売動向データ】

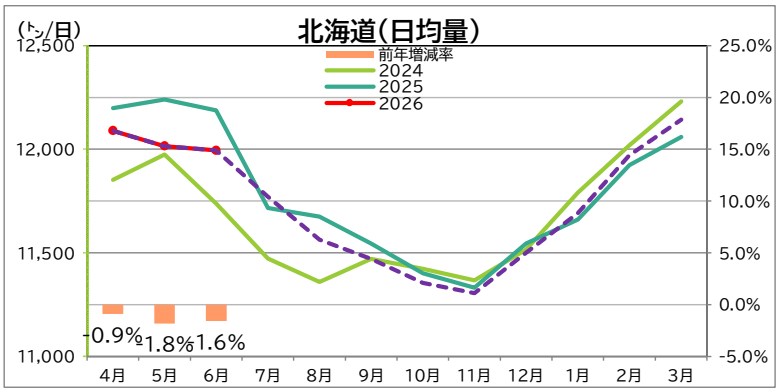
- 7月の牛乳類トータルの販売個数は、2カ月連続で前年水準を下回った。直近週（7/27週）では、牛乳類トータルおよび牛乳単体の販売個数がいずれも3週ぶりに前年水準を下回った。地域別に見ると、7月28日に令和8年熊本地震が発生した九州地域では3週ぶりに前年水準を下回り、今年に入ってから最も大きい減少率となった。
- 発酵乳の7/27週の合計販売数量は、個数・容量ベースともに8週連続で前年水準を上回った。内訳を見ると、ドリンクタイプが2週ぶり、個食タイプが4週連続、大容量タイプが33週連続で前年水準を上回った。
- 家庭用バターの販売個数は、7週連続で前年水準を上回った。昨年の価格改定（値上げ）から一巡したこともあり引き続き堅調な推移を見せている。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。
（1）6月の生乳生産量は、全国619.9千㌧（前年同月比98.7%）、北海道359.8千㌧（同98.4%）、都府県260.1千㌧（同99.2%）。
（2）6月5日に公表したJミルク予測値（全国614.5千㌧、北海道359.2千㌧、都府県255.3千㌧）との比較は北海道はやや上振れ、都府県も上振れした。
（3）直近の指定団体受託乳量速報値は全国が7月中旬（最新、以下同）で同98.3%、都府県（沖縄除く）が同98.0%、北海道は7月下旬が同97.3%となった。

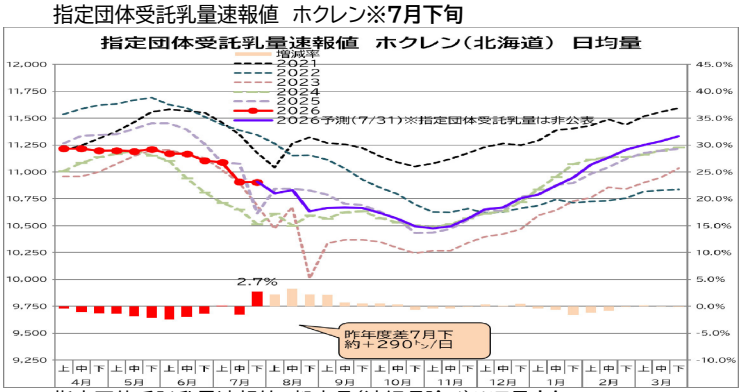


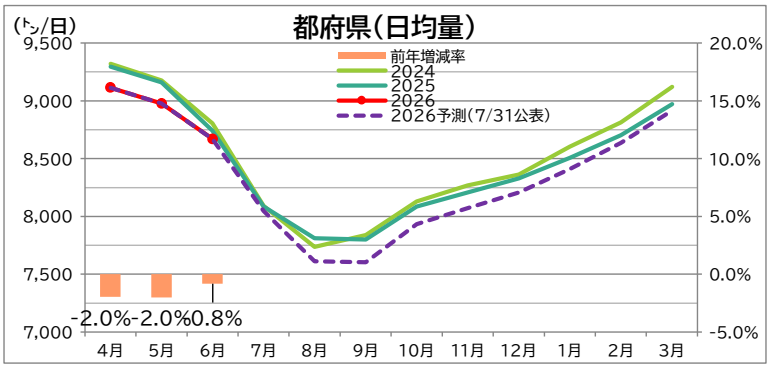
指定団体受託乳量速報値　全国（沖縄除く）※7月中旬



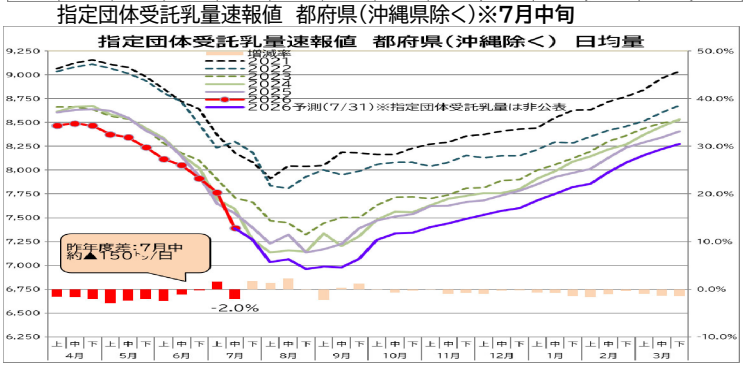


指定団体受託乳量速報値　ホクレン※7月下旬

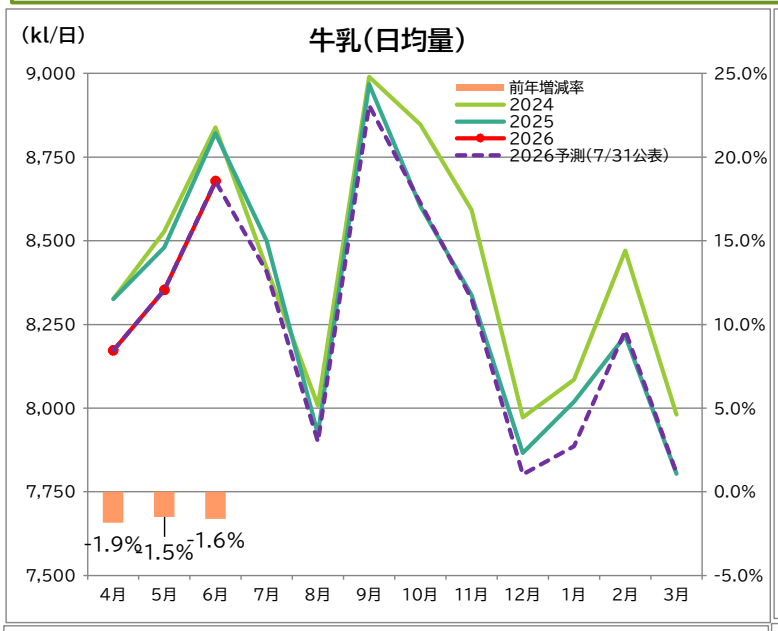


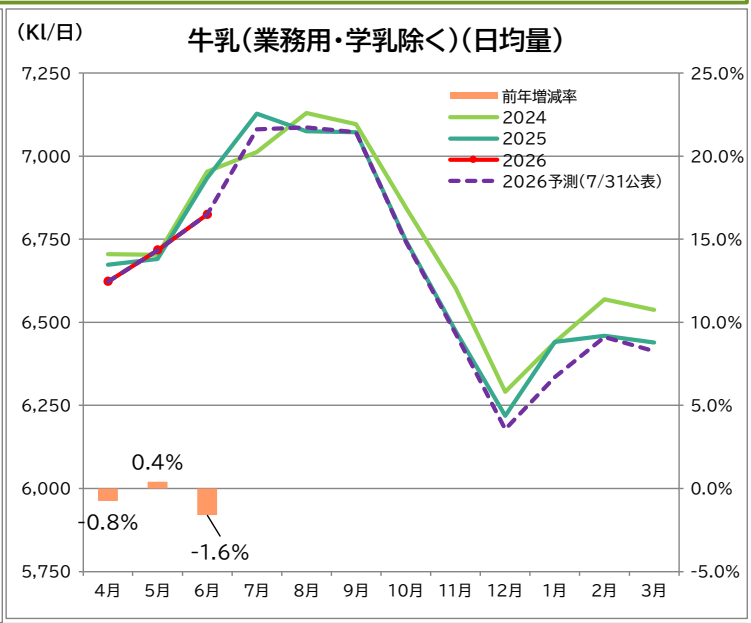


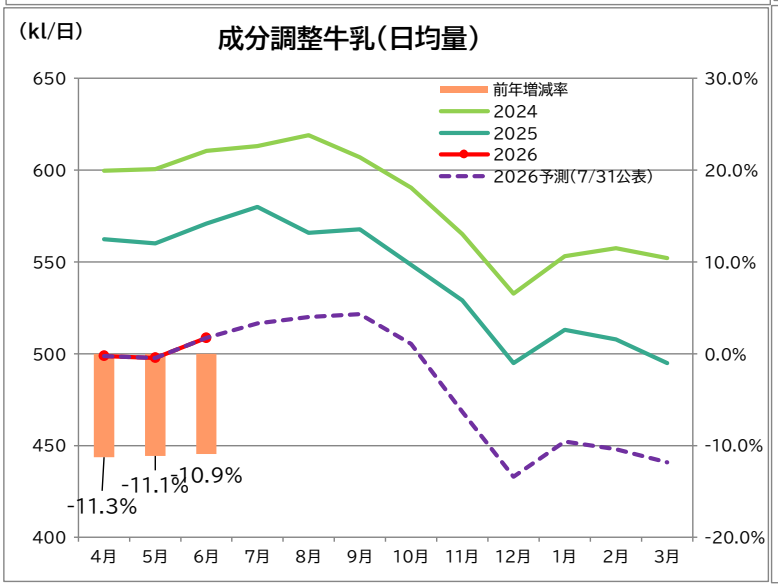
指定団体受託乳量速報値　都府県（沖縄県除く）※7月中旬

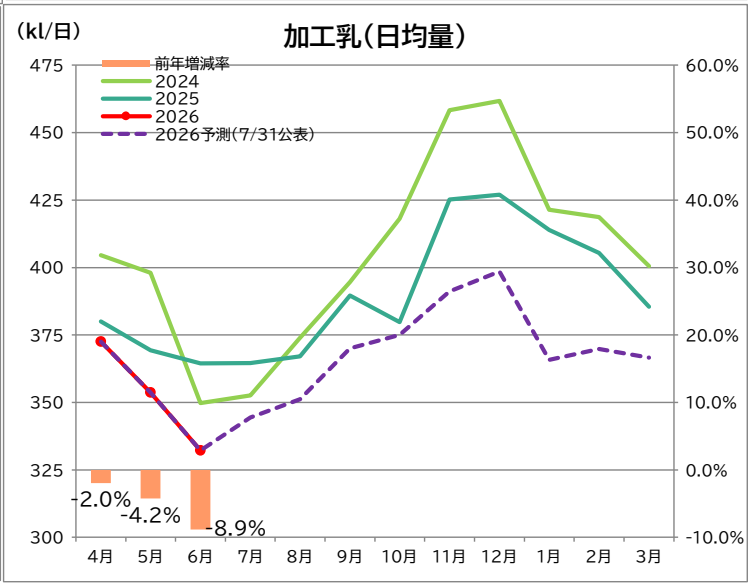


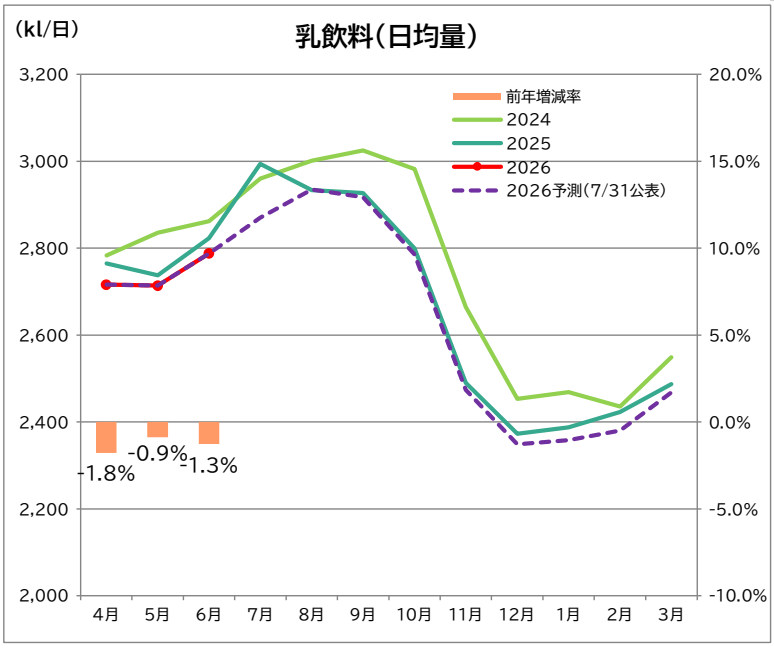
【牛乳等生産量】 ※増減率は、日均量で算出。
(1)6月の牛乳等生産量は、牛乳260.3千kl(前年同月比98.4%)、成分調整牛乳15.3千kl(同89.1%)、加工乳10.0千kl(同91.1%)、乳飲料83.6千kl(同98.7%)。牛乳類合計(牛乳・成分調整牛乳・加工乳・乳飲料)では369.2千kl(同97.8%)となり、11カ月連続で前年を下回った。
(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同98.4%、「業務用」は同95.7%、「学乳」は99.6%。
(3)はっ酵乳(乳業)は89.8千kl(同100.8%)、はっ酵乳(非乳業:5月実績)は98.5%となった。

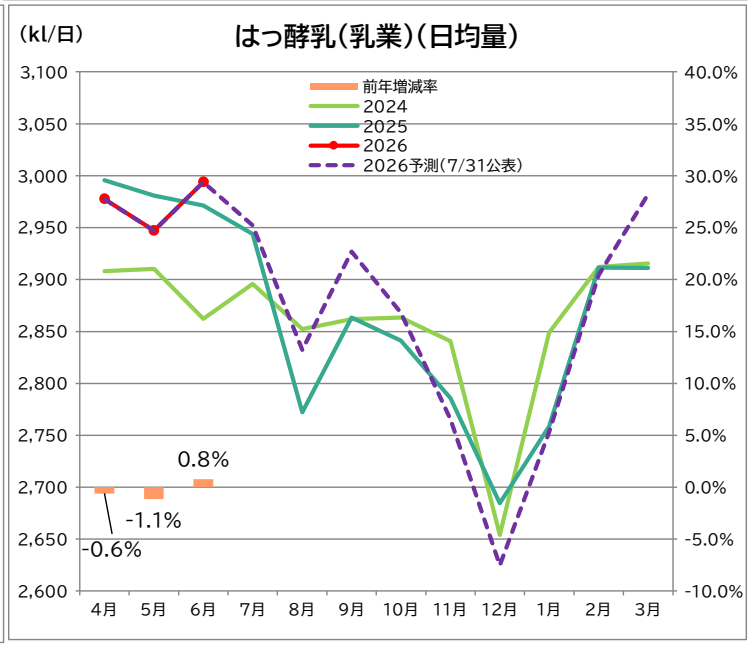






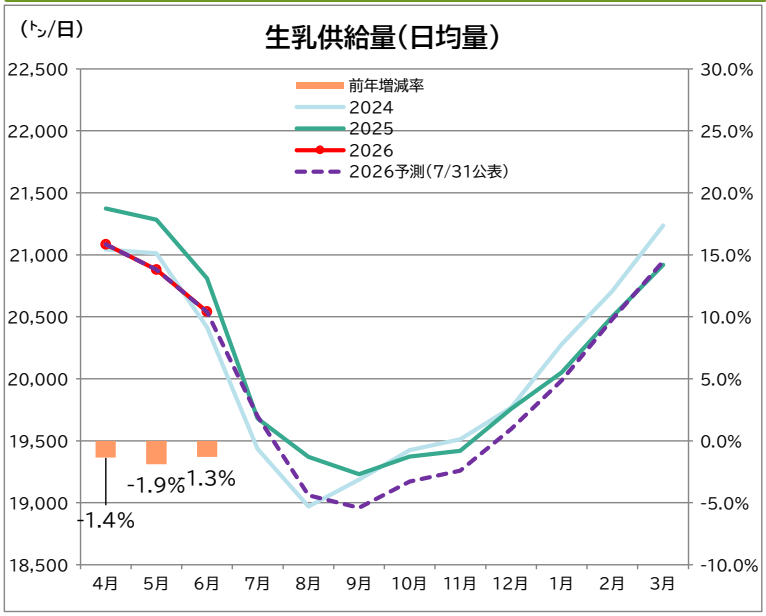


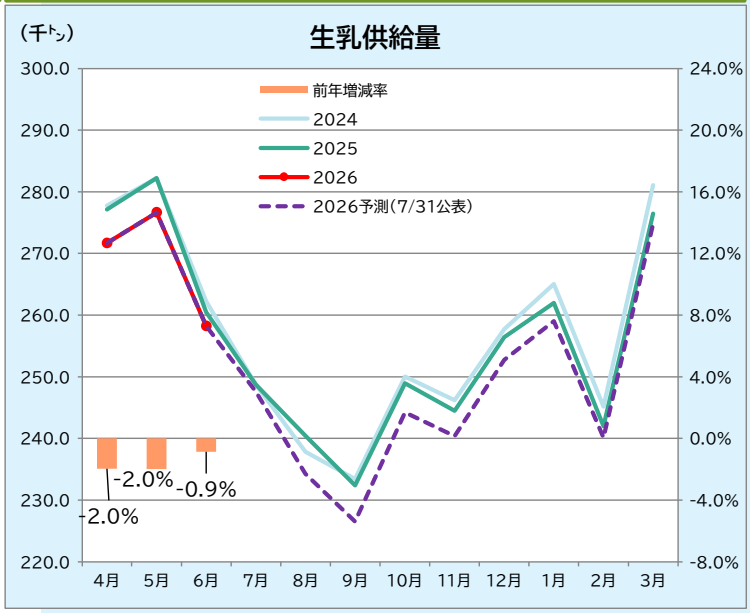


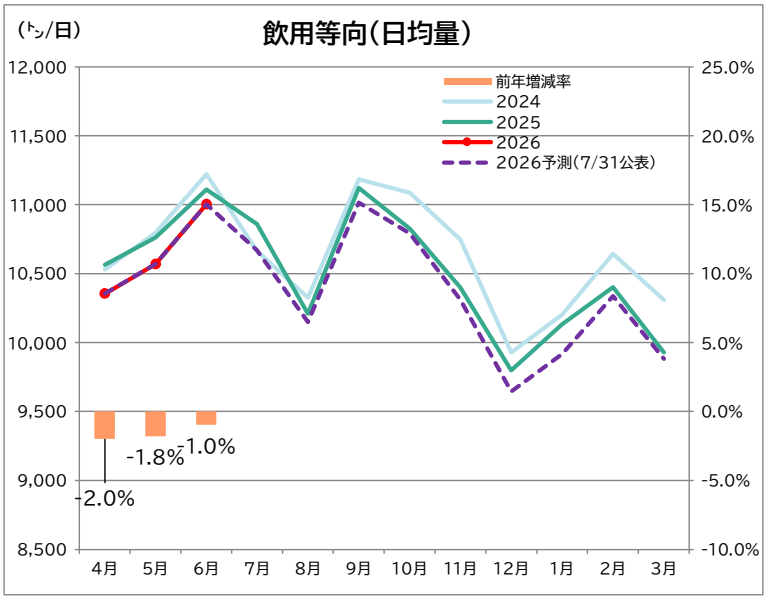


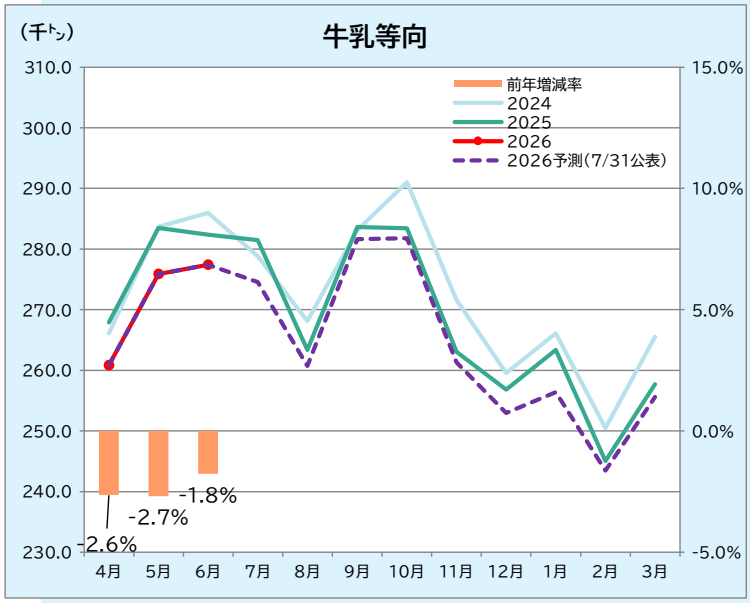
【用途別処理量(全国)】 ※増減率は、日均量で算出。
(1)6月の生乳供給量は616.2ﾄﾝ(前年同月比98.7%)、飲用等330.1千ﾄﾝ(同99.0%)、乳製品向(認定ベース)286.1千ﾄﾝ(同98.3%)。
(2)飲用等向が11か月連続で前年を下回り、生乳供給量が9カ月連続で前年を下回った結果、乳製品向は3か月連続で前年を下回った。
(3)6月5日に公表した予測値との比較では、生乳供給量(予測値:611.0千ﾄﾝ)は上振れ、飲用等向(予測値:328.5千ﾄﾝ)は上振れ、乳製品向(予測値:282.5千ﾄﾝ)は上振れとなった。

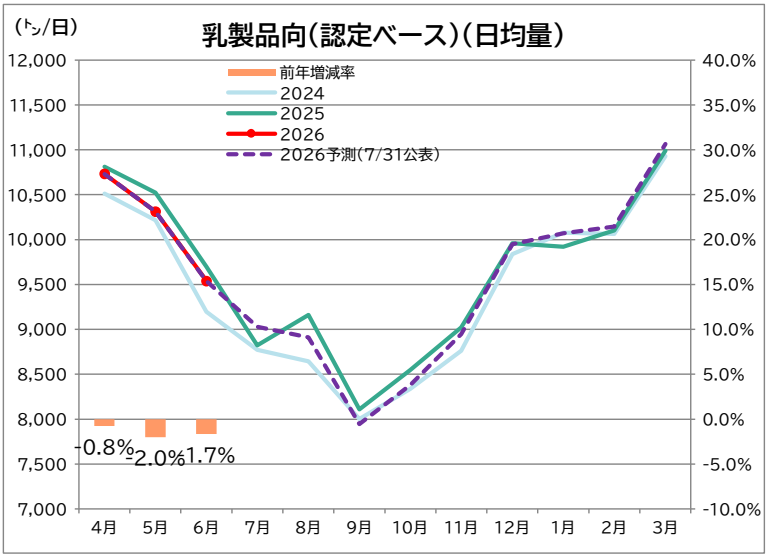
【都府県の生乳需給】
(1)6月は、生乳供給量258.2千ﾄﾝ(前年同月比99.1%)、牛乳等向277.4千ﾄﾝ(同98. 2%)。
(2)北海道からの移入量については45.7千ﾄﾝ(同98.6%)と9カ月連続で前年を下回った。
(3)6月5日に公表した予測値との比較では、生乳供給量(予測値:253.6千ﾄﾝ)は上振れ、牛乳等向(予測値:277.1千ﾄﾝ)はやや上振れ、移入量(予測値:46.0千ﾄﾝ)はやや下振れとなった。

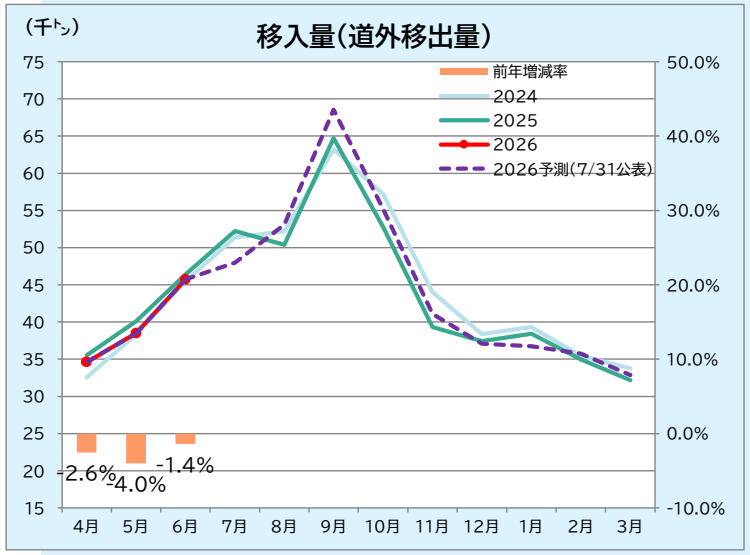




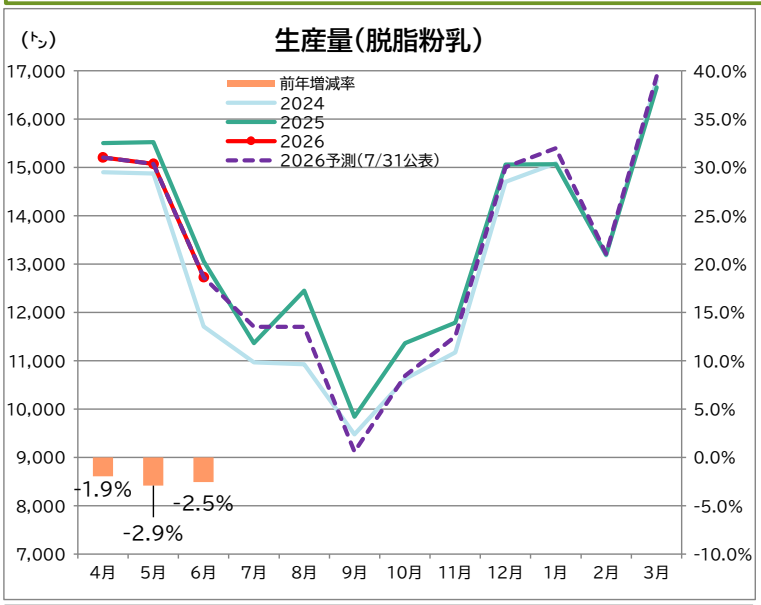


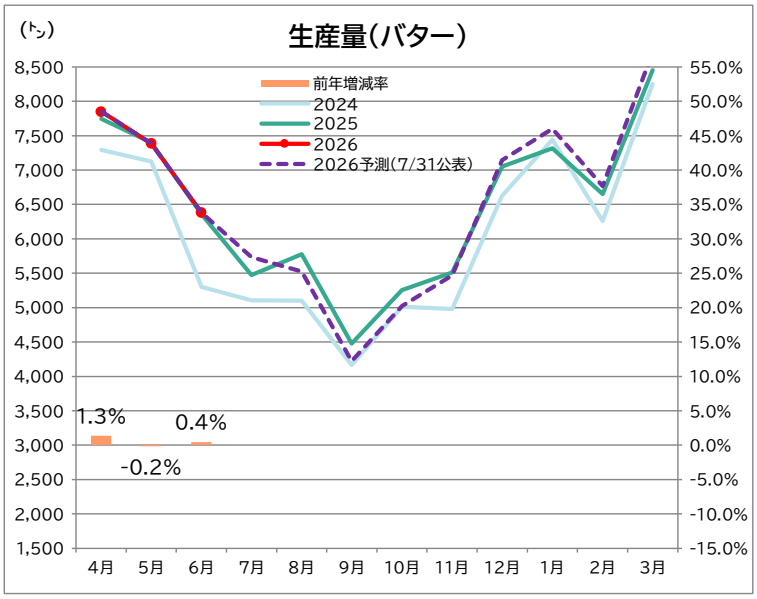


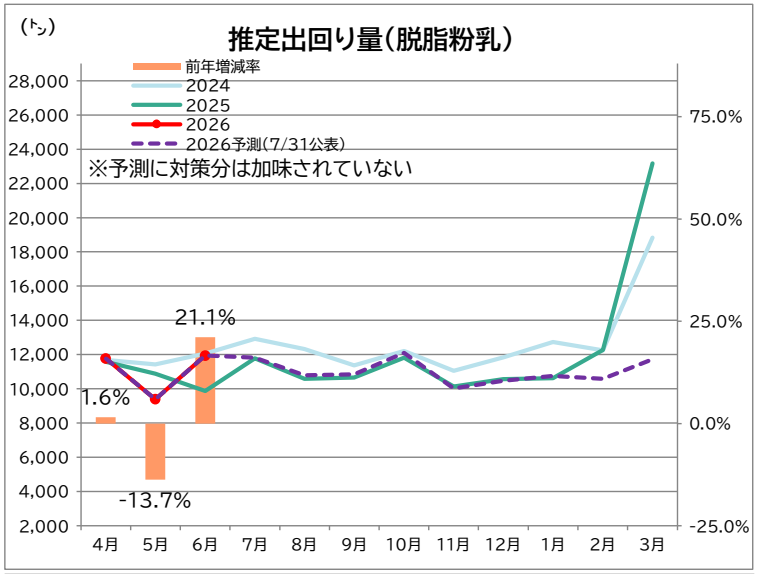


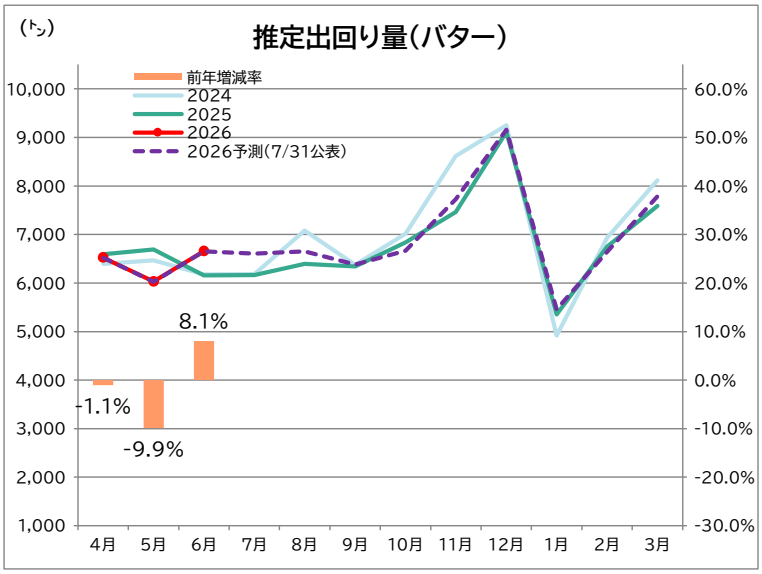


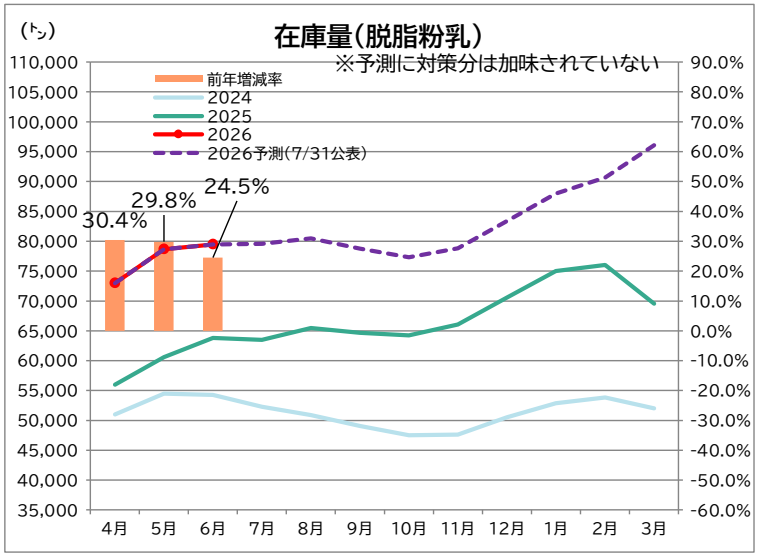
【脱脂粉乳・バターの需給】
(1)脱脂粉乳について6月の生産量は12.7千㌧(前年同月97.5%)、推定出回り量は11.9千㌧(同121.1%)となった。出回り量が生産量を下回り在庫量は前月から0.8千㌧程度増加し、79.5千㌧ (同124.5%)となった。在庫量は2024年12月、約2年3カ月ぶりに前年水準を上回りそれ以降、18カ月連続で前年超えで推移している。2026年3月には4か月ぶりに7万㌧を下回ったが、4月は再び7万㌧台に増加した。
※なお、推定出回り量の実績について、需給変動対策による在庫低減対策を差し引いた数量は102.2%。
(2)バターについて、6月の生産量は6.4千㌧(同100.4%)、推定出回り量は6.7千㌧(同108.1%)となった。国家貿易による輸入売渡分(約1.1千㌧)も考慮すると在庫量は前月から約0.8千㌧増加し38.9千㌧(同121.4%)となった。在庫量は22カ月連続で前年超え。
➡脱脂粉乳とバターの需要のアンバランスが表面化するなか、飲用需要が低調に推移している。脱脂粉乳は、積み増しを避けるべく需要拡大や理解醸成活動による消費の底上げを図る必要がある。バターは、消費動向を注視し、国家貿易による対応も含めて需要に対応した安定供給に努める必要がある。

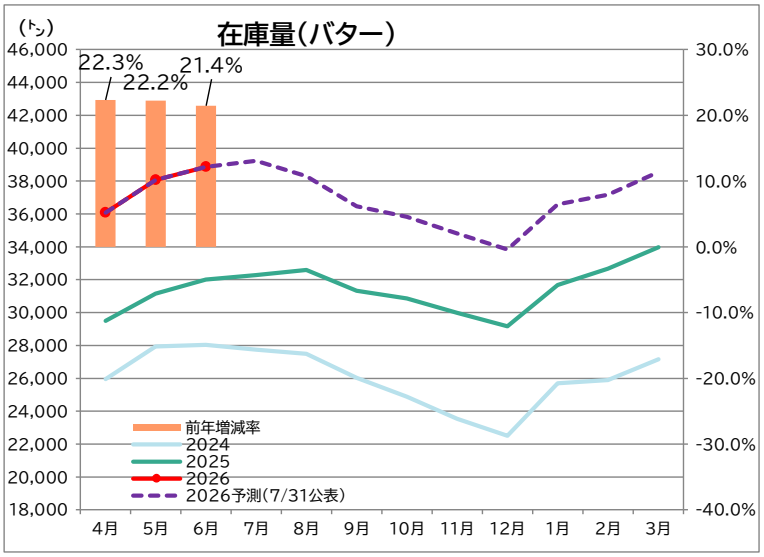












【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績
(1)7月の動向(表①参照)
・販売個数は、牛乳:前年同月比99.9%、成分調整牛乳:同87.1%、加工乳:同90.0%、乳飲料:同94.1%。 牛乳類全体:同98.1%
【参考】2024年7月比…牛乳:99.9%、成分調整牛乳:82.1%、加工乳:77.3%、乳飲料:92.1%(牛乳類トータル:97.2%)
(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)
・直近(7/27週)の販売個数は、牛乳:前年同期比98.9%、成分調整牛乳:同89.4%、加工乳:同95.6%、乳飲料:同93.3%。牛乳類トータルでは同97.4%
出典 ㈱インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】 単位:千個、円

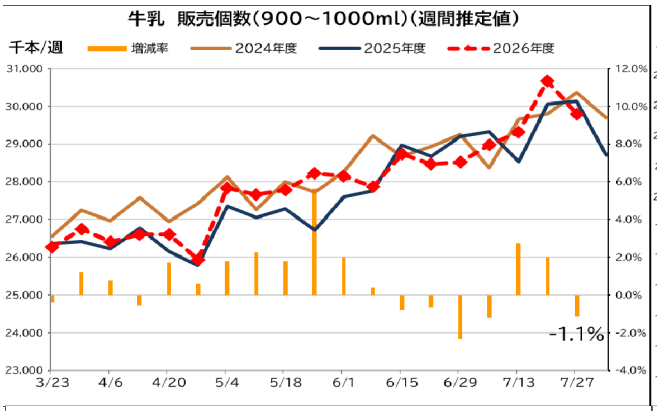
品目	区分	2026/2-	2026/3-	2026/4-	2026/5-	2026/6-	2026/7-	2026/7-2022/10価格差	2026/7-2023/3価格差	2026/7-2023/7価格差	2026/7-2025/7価格差
トータル	販売個数	131,371	146,106	144,517	156,278	153,724	164,178	42.2	27.1	25.3	9.0
	販売個数前年比	97.8	97.6	98.8	102.0	97.7	98.1				
	販売単価	225.8	225.2	225.3	225.2	225.0	225.3				
牛乳	販売個数	103,162	115,117	113,587	123,082	121,120	129,328	43.7	27.4	26.6	8.8
	販売個数前年比	99.7	99.6	100.6	104.1	99.4	99.9				
	販売単価	234.5	233.7	233.8	233.7	233.6	233.9				
成分調整牛乳	販売個数	7,252	7,718	7,576	7,992	7,860	8,424	44.8	29.2	25.6	11.9
	販売個数前年比	86.5	85.0	84.7	86.9	85.6	87.1				
	販売単価	217.1	217.2	217.5	217.8	217.5	218.0				
加工乳	販売個数	1,750	1,925	1,867	1,993	1,936	2,088	45.2	35.5	25.3	13.8
	販売個数前年比	92.5	90.4	90.1	91.5	88.9	90.0				
	販売単価	232.4	233.3	236.5	236.5	237.9	237.1				
乳飲料	販売個数	19,207	21,345	21,486	23,210	22,809	24,338	31.3	20.7	17.0	7.2
	販売個数前年比	93.6	93.0	96.3	98.5	94.6	94.1				
	販売単価	181.7	181.2	182.0	181.3	181.2	180.8				

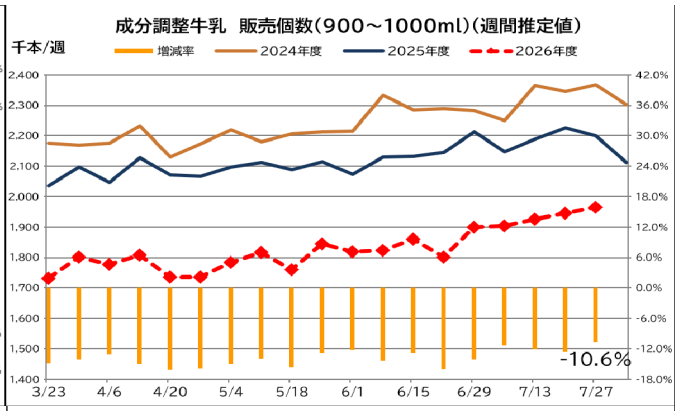
速報値

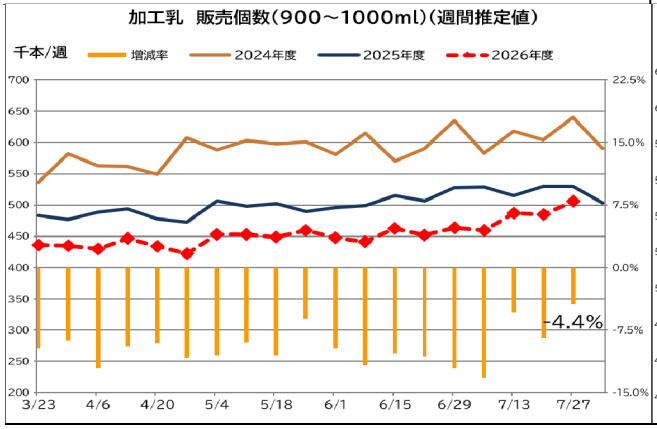
【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

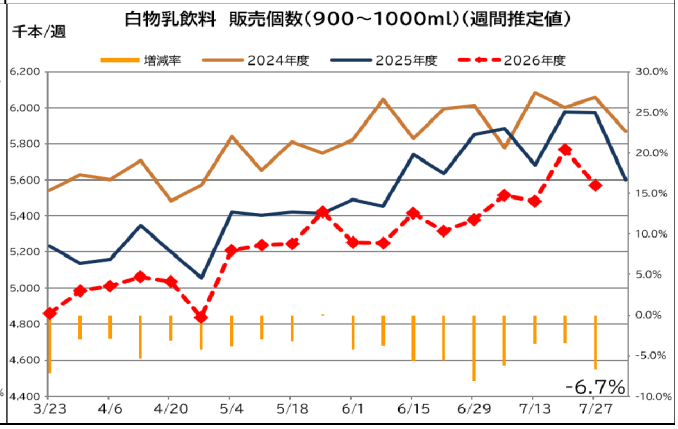
品目	区分	6.8-	6.15-	6.22-	6.29-	7.6-	7.13-	7.20-	7.27-	26.7.27-22.10.24価格差	26.7.27-23.3.20価格差	26.7.27-23.7.24価格差	26.7.27-25.7.21価格差
トータル	販売個数	35,385	36,474	36,040	36,262	36,852	37,206	38,862	37,834	42.2	27.3	24.9	8.9
	販売個数前年比	98.7	97.6	97.5	95.9	97.3	100.8	100.2	97.4				
	販売単価	224.8	225.1	225.1	224.7	225.1	225.4	225.4	225.4				
牛乳	販売個数	27,871	28,737	28,471	28,520	28,974	29,313	30,662	29,791	43.7	27.4	26.2	8.7
	販売個数前年比	100.4	99.2	99.3	97.7	98.8	102.8	102.0	98.9				
	販売単価	233.4	233.6	233.5	233.4	233.8	234.0	234.1	234.0				
成分調整牛乳	販売個数	1,824	1,860	1,801	1,900	1,904	1,925	1,945	1,966	44.9	30.1	25.2	12.0
	販売個数前年比	85.7	87.2	83.9	85.9	88.6	87.9	87.4	89.4				
	販売単価	216.9	218.2	218.6	215.7	217.2	218.2	219.3	218.2				
加工乳	販売個数	441	462	452	464	459	487	485	506	39.9	30.5	20.6	8.3
	販売個数前年比	88.3	89.7	89.3	87.9	86.8	94.6	91.5	95.6				
	販売単価	238.2	237.8	237.5	237.0	238.7	234.1	238.3	234.1				
乳飲料	販売個数	5,249	5,415	5,317	5,378	5,515	5,481	5,770	5,571	30.2	20.3	15.4	5.7
	販売個数前年比	96.2	94.3	94.4	91.9	93.7	96.5	96.6	93.3				
	販売単価	181.0	181.4	181.2	180.7	180.7	181.2	180.4	180.7				

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】









【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】
(1)直近の週次動向(表⑤参照)
直近(7/27週)の販売個数はドリンクタイプ(90～250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70～130ml):同100%以上、大容量タイプ (350～500ml):同105%以上。はっ酵乳全体としては、前年を上回った。(3品目合計販売個数は前年同期比100%以上、合計販売容量は同100%以上)。
(2)販売個数について、前週(7/20週)との比較では、3品目いずれも減少した。
※出典 ㈱インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。**データ転用はご遠慮下さい。**

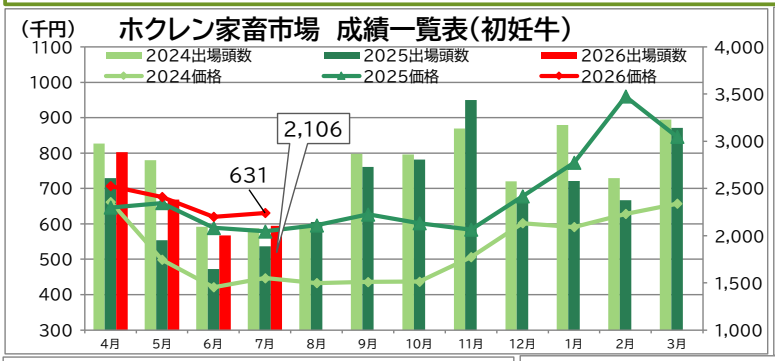
【表⑤ ヨーグルト類の販売動向】

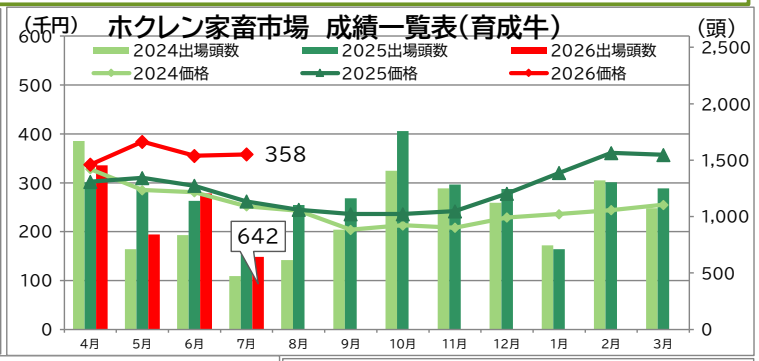
品目	6.8-	6.15-	6.22-	6.29-	7.6-	7.13-	7.20-	7.27-
ドリンクタイプ	→	→	↘	→	→	→	↘	→
個食タイプ	→	→	→	↘	→	→	→	→
大容量タイプ	→	↗	→	→	→	↗	↗	↗

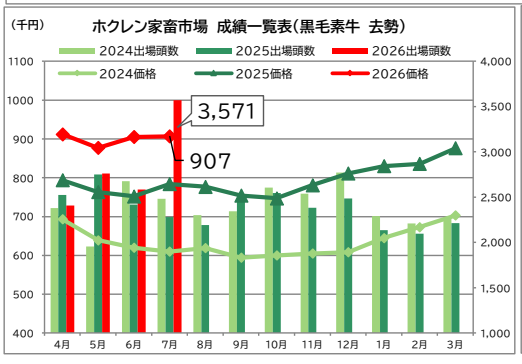
↓ :前年比90%未満
↘ :前年比90%以上100%未満
→ :前年比100%以上105%未満
↗ :前年比105%以上110%未満
↗ :前年比110%以上120%未満
↑ :前年比120%以上

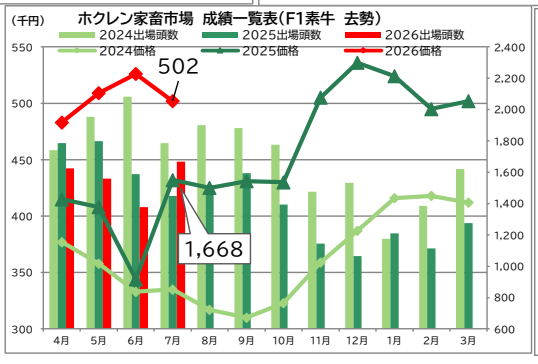
※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

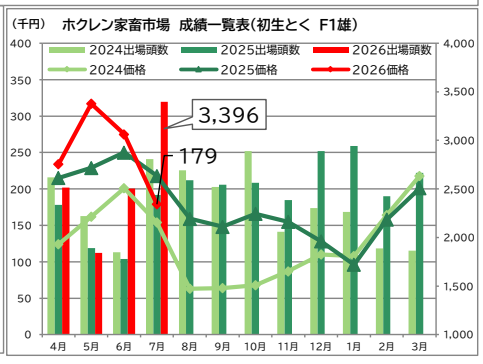
【家畜販売価格動向(税込)】
(1)7月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は631千円(前年同期比109.0%)、育成牛価格は358千円(同136.6%)、和牛素牛(去勢)価格907千円(同115.7%)、F1素牛(去勢)価格は502千円(同116.2%)。初妊牛は3カ月連続で60万円台となり、育成牛は7カ月連続で30万円台を維持した。ホル初生(雄)価格は94千円(同135.8%)と、5か月ぶりに100千円を下回った(グラフ無し)。
(2)出場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同111.7%、育成牛:同90.2%、F1初生(雄):同139.4%、和牛素牛(去勢):同156.7%、F1素牛(去勢):同115.2%。
※ホクレン家畜市場集計表 速報値(https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx)



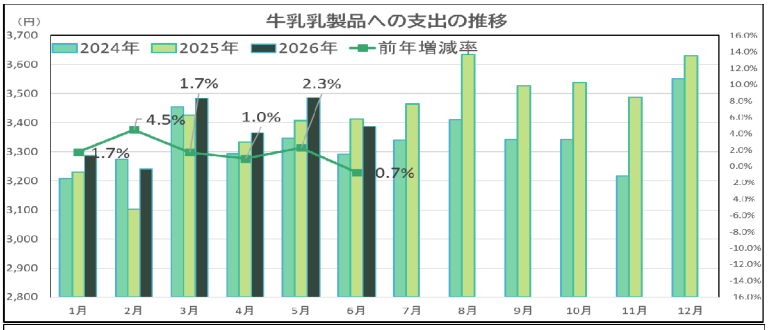


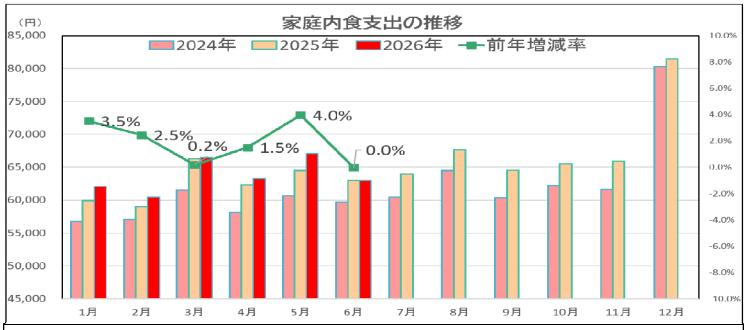


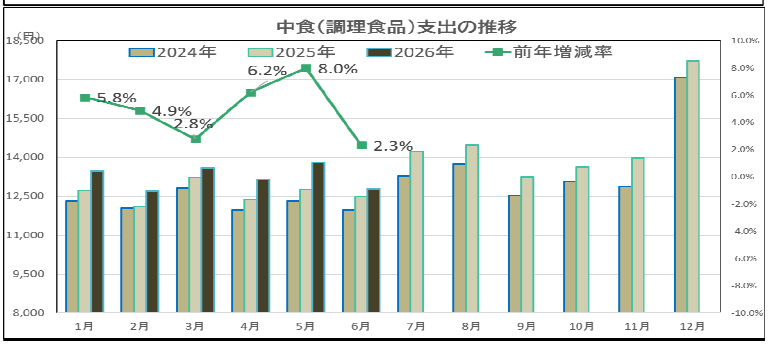


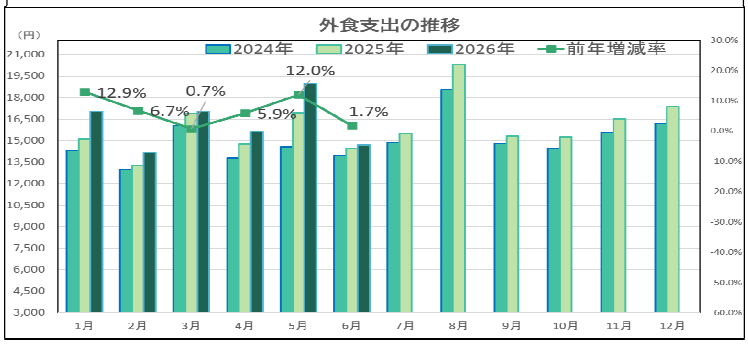


【家計支出の動向】
(1)6月の支出額前年比について、外食101.7%、中食102.3%、内食100.0%といずれも前年を上回り、食料全体への支出額は100.6%となった。
(2)牛乳乳製品の支出額は前年比99.3%(うち牛乳97.7%、乳製品100.2%)と13カ月ぶりに前年を下回り、牛乳は2か月ぶりに前年割れとなった。
(3)なお、購入量は、牛乳95.0%(1世帯当たり5.4㎏)と4か月連続で前年割れ。バターは2カ月連続で前年割れ、チーズは4カ月連続で前年超えとなった。
※総務省家計調査(二人以上の世帯。家庭内食は、食料-調理食品-外食で独自に算出)

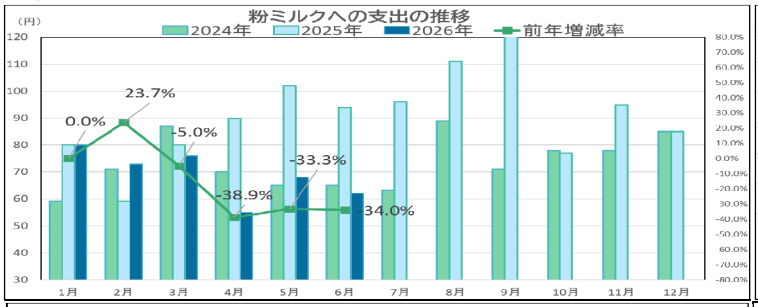


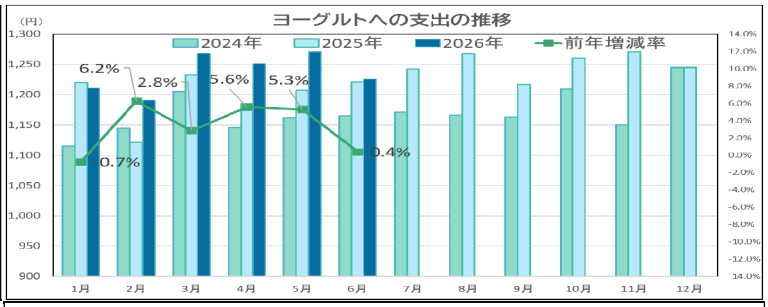


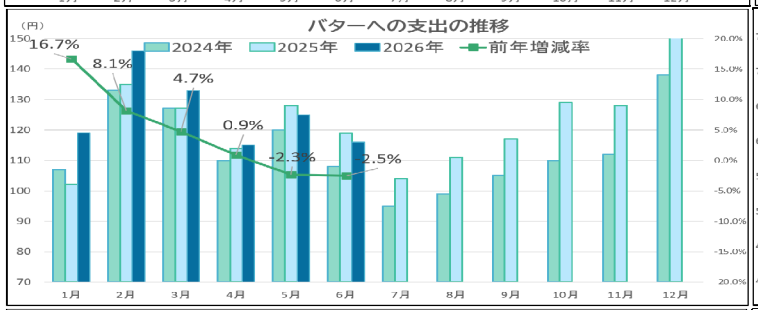


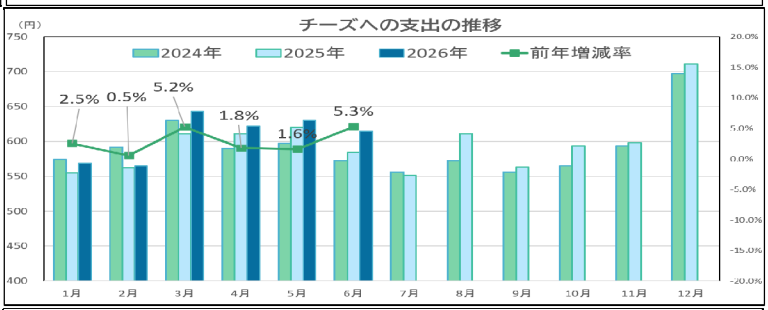


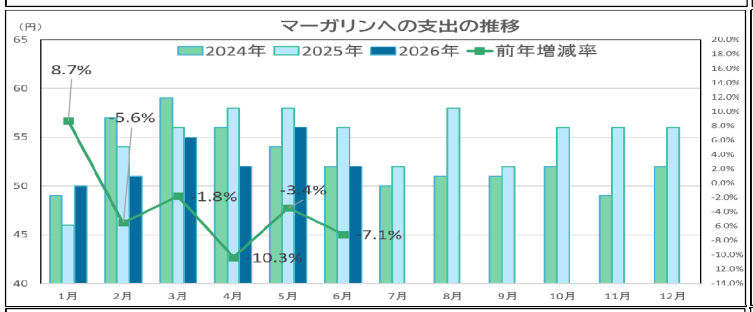
【参考:その他品目支出の動向】

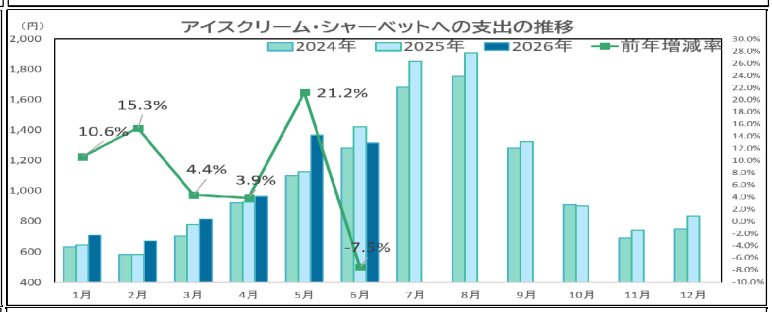


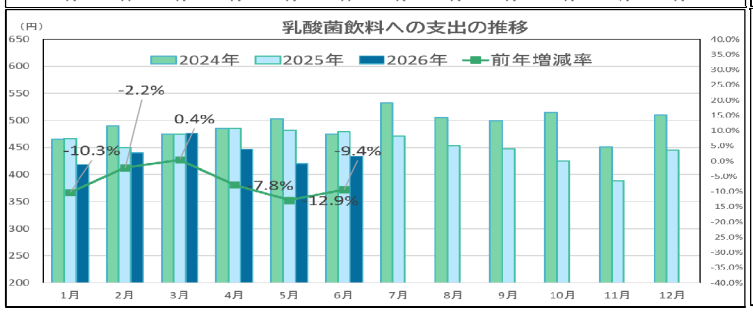


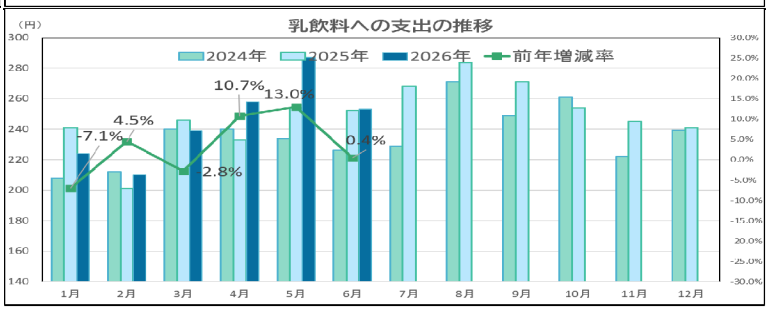


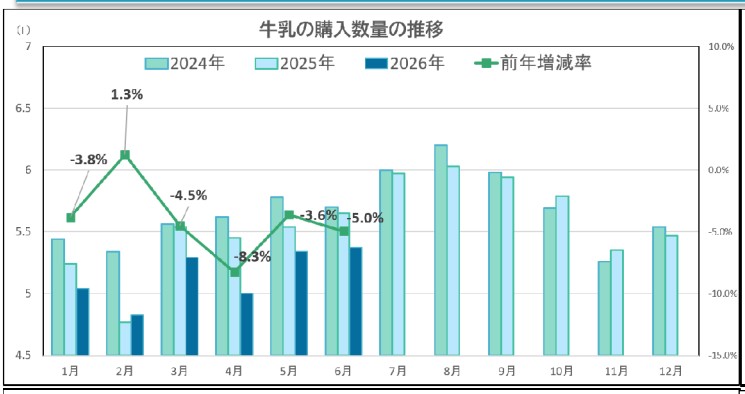


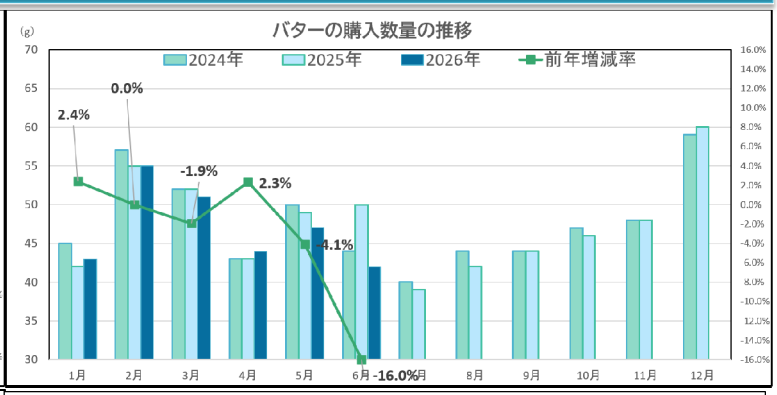


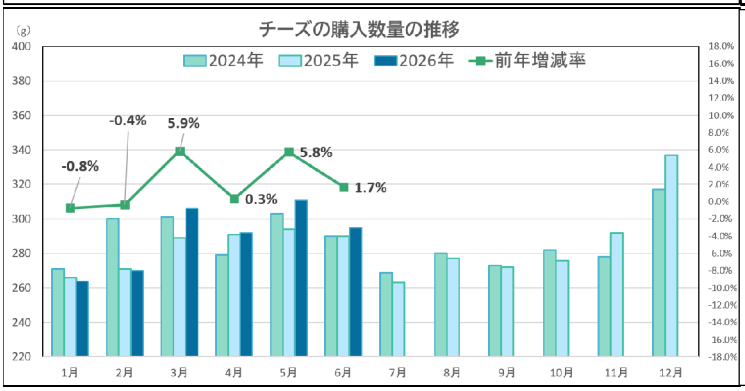


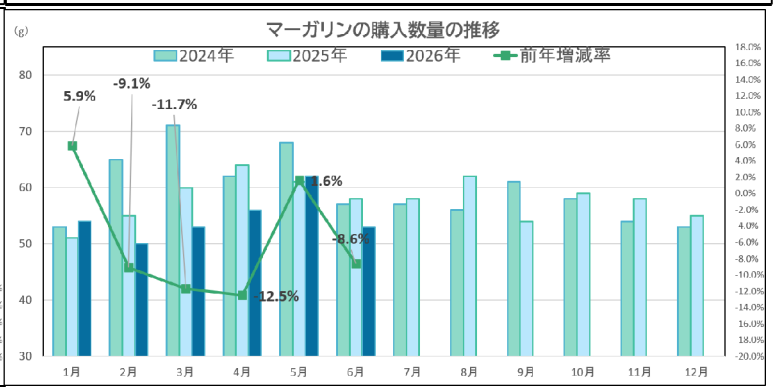












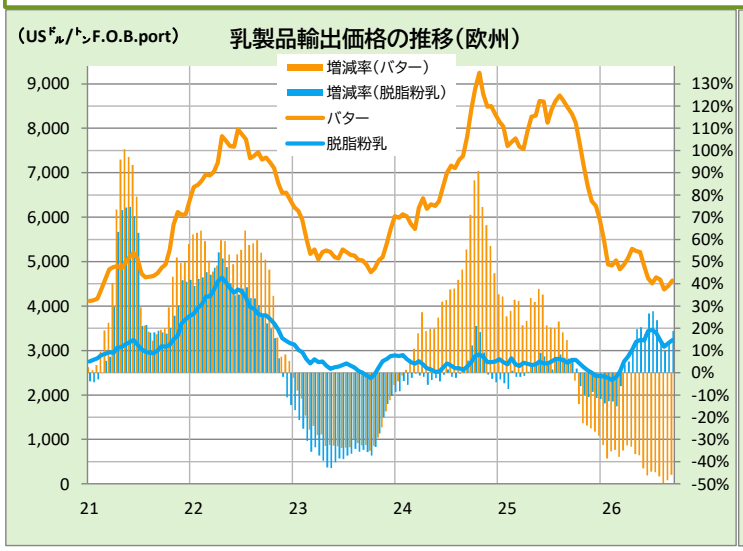
【乳製品輸出価格の動向】

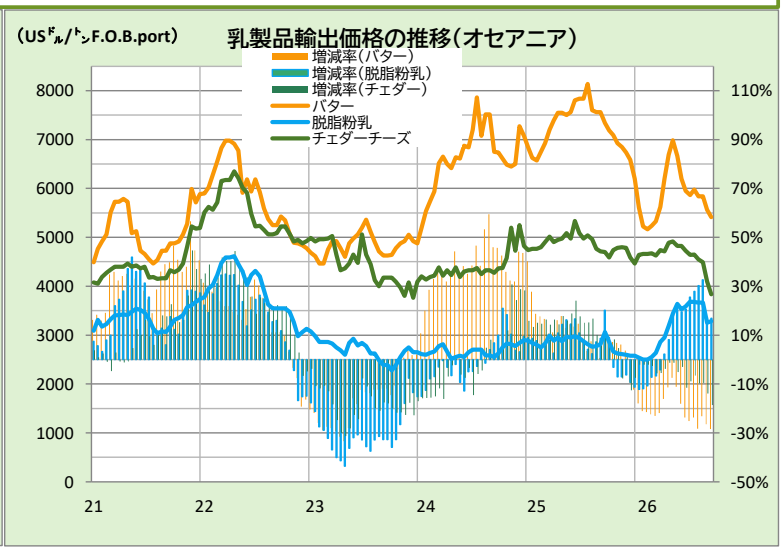
(1)直近の乳製品国際相場について(7月下旬)

・欧州:脱脂粉乳3,238ドル/ﾄﾝ、バター4,575ドル/ﾄﾝ中心。

・オセアニア:脱脂粉乳3,288ドル/ﾄﾝ、バター5,413ドル/ﾄﾝ、チェダーチーズは3,838ドル/ﾄﾝ中心

※出典:米国農務省(USDA)





※「2026年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」